



たかはるちょう

第63号

平成30年3月定例会（第1回）

議会だより



井ノ原遺跡（後川内）



約3500年前
縄文時代後期



すり石



町鳥・仏法僧
フクロウソウ



町木・たちばな



町花・みやまきりしま

もくじ

- 3月定例会のあらまし・・・P3～P5
- 一般質問・・・・・・・・・・P6～P9
- 茶飲み場紹介・・・・・・・・P12



the most beautiful
villages
in japan

■発行／高原町議会
 ☎889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-5138
 ■発行日 平成30年4月16日

■編集／議会だより編集委員会

お知らせ



議会報告会 の開催について

【日程及び開催場所のご案内】

期 日	時 間	場 所	対 象 地 区
4月23日（月）	午後 7時30分 ～ 午後 9時00分	川平多目的研修集会施設	川平区
4月23日（月）		並木児童館	並木・常盤台区
4月24日（火）		西広原活性化センター	西広原区・上広原区
4月24日（火）		出口農業構造改善センター	出口区・鹿児島区
4月25日（水）		祓川神楽殿	湯之元区・中平区・祓川区
4月25日（水）		下広原構造改善センター	下広原区
4月26日（木）		北狭野神武ふるさと館	北狭野区・南狭野区
4月26日（木）		下後川内多目的集会施設	上後川内区・下後川内区
4月27日（金）		ほほえみ館中研修室	上麓区
4月27日（金）		花堂むらおこしセンター	花堂区・小塚区
4月28日（土）		ほほえみ館中研修室	蒲牟田区・下麓区 及び これまで参加できなかった方

内 容

- （１）議会の活動状況（新年度予算、所管事務調査等の報告）
- （２）意見交換
- （３）その他



◀▲ 昨年の議会報告会の様子

※ 対象地区以外の場所での参加も可能ですので、ご都合の良い日にご参加ください。

3月 定例会

あらまし

平成30年3月定例議会は、3月7日から3月20日までの14日間の日程で開催されました。

今議会には、同意（人事案件）2件、承認1件、補正予算7件、条例改正11件、その他1件そして、平成30年度一般会計予算及び特別会計予算5事業、企業会計予算3事業の計9件の予算が上程され、それぞれの常任委員会で審議が行われ原案通り同意、可決されました。

平成30年度一般会計予算

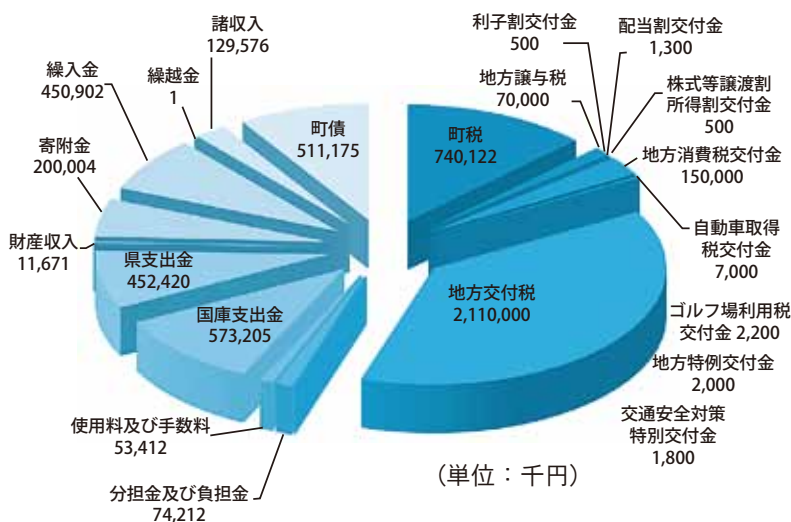
55億4,200万円

国営かんがい排水事業西諸地区負担金など

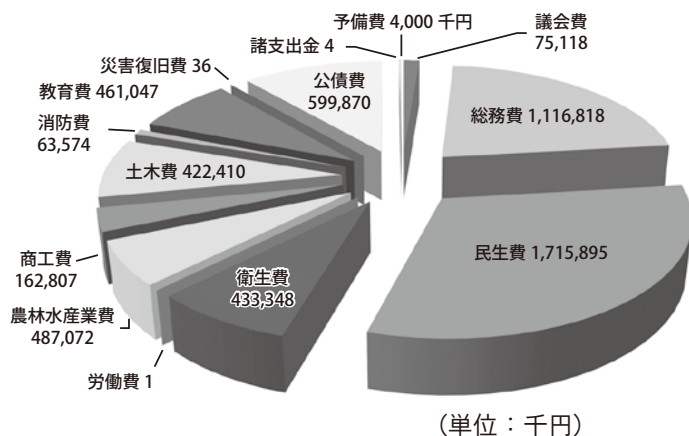
平成30年度一般会計当初予算の歳入歳出予算の規模は、55億4,200万円、前年度比1億3,300万円（2.3%）の減となっています。

新規事業の主なものとして、保育所等整備交付金事業、活かせ「生農地の水」園芸作物支援事業、国営かんがい排水事業西諸地区負担金、道路補修後谷温谷線、蒲牟田橋などの橋梁補修工事、小中学校給食費補助金、小学校施設整備事業、並木地区公民館建設実施設計業務委託事業など60事業が計上されています。

歳入



歳出



国営かんがい排水事業（浜ノ瀬ダム）

平成30年度 一般会計当初予算の重要施策の概要（主な事業のみ掲載）

（１）「町民の誰もが住み続けながら、豊かさと幸せを実現できる町づくり」事業の着実な推進



① 農林畜産業、商工業の振興と雇用の創出

- ★集落営農法人化促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ [59万7千円]
- ★生かせ「生農地の水」園芸作物支援事業・・・・・・・・・・ [347万4千円]
- ★たかはる園芸担い手応援サポート事業・・・・・・・・・・ [450万円]
- ★中山間地域等直接支払交付金事業・・・・・・・・・・ [4,864万6千円]
- ★農業次世代人材投資事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ [825万円]
- ★県営畑地帯総合整備事業（鹿児山1, 2, 3期地区）・・・・ [2,212万円]
- ★県営畑地帯総合整備事業（後川内1, 2期地区）・・・・ [3,318万円]
- ★畜産振興関連事業（3事業）・・・・・・・・・・・・・・・・ [999万円]
- ★ふるさと納税特産品贈呈事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [1億4,200万円]
- ★国営かんがい排水事業西諸地区負担金・・・・・・・・・・ [1億2,731万円]

② 観光振興による交流人口の増

- ★ビュースポット看板設置事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [67万2千円]
- ★観光振興復興対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ [100万円]
- ★農家民泊事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ [101万円]

③ 移住・定住の推進

- ★地域おこし協力隊事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ [800万円]
- ★空き家バンク事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ [69万8千円]
- ★移住・定住支援金事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ [961万2千円]
- ★定住促進住宅整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ [1,146万9千円]
- ★ふるさとワーキングホリデー事業・・・・・・・・・・ [35万円]

④ 子育て支援

- ★小・中学校給食費補助・・・・ [1,359万3千円]
- ★児童生徒国際交流事業・・・・・・・・ [340万円]
- ★こども医療費助成事業・・・・ [1,332万9千円]
- ★保育料等負担軽減事業・・・・・・・・ [660万円]
- ★地域子育て支援拠点事業・・・・ [333万8千円]
- ★高原町教育資金融資事業・・・・ [2,250万円]



⑤ 高齢者支援

- ★ 高齢者の生きがいと健康づくり事業（茶飲み場）・・・[439万1千円]
- ★ 生きがい対応型デイサービス事業・・・[413万6千円]
- ★ 老人クラブ活動事業・・・[126万8千円]

⑥ 地域交通の充実

- ★地域交通機関運行維持対策事業
（乗合タクシー・廃止路線代替バス）・・・[1,125万円]
- ★高原町地域公共交通会議（計画策定）・・・[455万9千円]

⑦ 健康づくりと地域医療の充実

- ★健康づくり推進活動事業・・・[882万4千円]
- ★健康増進事業（健康教育・健康診査・訪問指導）・・・[1,435万5千円]
- ★予防接種事業・・・[2,499万9千円]
- ★病院整備事業・・・[1億328万6千円]

（２）行財政改革推進事業

① 収納対策事業

- ★コンビニエンスストア収納業務事業・・・[61万8千円]
- ★収納率向上対策事業・・・[97万7千円]

② 財政負担の縮減・合理化事業

- ★公立保育所指定管理事業・・・[8,500万円]
- ★町内小中学校用務員業務委託事業・・・[638万2千円]
- ★学校給食調理業務委託事業・・・[3,630万8千円]

(千円)

区 分		平成30年度当初予算 (A)	平成29年度当初予算 (B)	比 較	
				増 減 額 (A)－(B)	増減率 (%)
一 般 会 計		5,542,000	5,675,000	△133,000	△2.3
特 別 会 計	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	1,000	1,100	△100	△9.1
	農 業 集 落 排 水 事 業	26,040	26,091	△51	△0.2
	国 民 健 康 保 険	1,445,961	1,700,418	△254,457	△15.0
	介 護 保 険 事 業	1,248,207	1,390,138	△141,931	△10.2
企 業 会 計	保 険 勘 定	4,249	4,461	△212	△4.8
	サ ー ビ ス 勘 定	310,166	335,731	△25,565	△7.6
	後 期 高 齢 者 医 療	317,530	294,792	22,738	7.7
	水 道 事 業 会 計	1,127,818	1,086,805	41,013	3.8
病 院 事 業 会 計		2,096	2,121	△25	△1.2
工 業 用 水 道 事 業 会 計		10,025,067	10,516,657	△491,590	△4.7
総 計					

※企業会計については、収益的支出及び資本的支出の合計額

一般質問

町の考えを問う

交通弱者に優しい町を！



陣 圭介議員

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をたたくこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

○町長の政治姿勢について

問 当初予算の編成にあたり公約を踏まえ、総体的にどのような点に重点をおいたか？

答 学校給食の半額助成事業など、数項目にわたり提案している。

問 行財政改革について、具体的にどのような点を見直したか？

答 退職者不補充という体制をとった。

問 町債について、平成29年度末見込残高53億5,984万6千円に対し、平成30年度中の変動は5,27

3万円の減。極めて後ろ向きではないか？

答 減っていく方向で毎年の財政運営を図って参りたい。

問 30年度予算では、議会で答弁された「新たな財源の模索」という姿勢があらわれていない。これからどのような姿勢で取り組んでいくのか？

答 指摘のとおり見えにくい部分があるかと思う。補助金等も決定していないものもある。町の財産の処分は徹底して行いたい。

○寄附金徴収の適性についての情報提供を

問 各区の寄附金徴収において、区費に含めて徴収する形態は、態様によっては違法性を帯びるが、整理し

て情報提供すべきでは？

答 判決も含めて区長会を通じて情報提供をして参りたい。

○公共工事の工期の平準化を

問 入札時期、契約時期及び工事の実施時期について、現状は？

答 平成28年度実績で、発注実績が上半期54・5%、下半期45・5%であり、ある程度均等な発注ができています。

問 ゼロ地方債の活用は工期の平準化に大きく寄与すると確信するが、考えは？

答 事業課の意見も踏まえた上で、今後検討すべき。早期発注は、受注者側にメリットもあると考えているので、こういったことを全体的に検討すべき。

○予防接種事業の推進を

問 H P V ワクチンの男性接種は、2次的にパートナーをウイルスへの曝露から守ることに繋がる。助成制度を設けては？

答 現在、男性に対するH P V ワクチン接種については、健康被害救済制度の救済の対象とはなっていない。国の動向を見ながら慎重に事業に取り組む。

問 任意予防接種の全額助成へ向けた医師会との協議の進捗は？

答 既に西諸医師会とも協議し、ご理解を頂き、ご協力を頂けることとなっているが、指摘事項がある。今後調整していく。

○地域公共交通の空白地帯解消を

問 交通弱者に対する当局の基本的な考え方は？

答 乗合タクシーや路線バ

スの運行経路地域内外に、買い物や通院などの移動が困難な高齢者等がいらつしやる状況は伺っている。平成30年度に計画策定を予定しており、その中で利用者ニーズに的確に対応したものを目指す。

問 乗合タクシー事業について、予算を通常のタクシー利用に対する助成事業に振り替えるという提案に対する考え方は？

答 助成制度導入については、情報収集に努め、乗合タクシーや路線バス運行事業者とも十分に協議し、利用者等から聞き取りを行いながら、また、財政的な問題も整理した上で、判断して参りたい。



▲乗合タクシー

免除規定設けて、社会的弱者に配慮を！



中村 昇議員

○町営住宅について

1 保証人について

問 どうしても保証人が見つかからない場合、国は免除規定を設けるよう平成14年3月に通知を出している。佐賀市では、保証人が見つからなくて入居できなかったケースや国の通知を受けて、保証人の免除要綱を定めている。本町でも行ったかどうか。

答 本町では2人の保証人としているが、入居辞退とならないように対応する。

2 定住促進住宅について
 広原地区の8戸の住宅

建設はPFI方式（民間資金活用）で建設するとしていたが。

答 住宅建設の比較検討を行ってきたが、結果的に直営方式に決定した。宅地造成工事に国の交付金を活用したことから、住宅建設に補助金活用が困難となり、地方債で建設する予定。

○教育行政について

1 運動部活動について

問 文科省は昨年、中学校の部活について休養日を適切に設定することを求める通知を出した。本町での運動部活の実態と通知を受けての対応は。

答 町内では高原中10、後川内中2の運動部があり、休養日は平日週1日、土・

日は月2日として、1日の活動時間も規定しており、過度な運動の実態はない。文科省の通知を受けて、町内の先生方の意見を聞き、町の方針を決定した。休養日は平日週1日以上、土・日は月2日以上、時間は平日2～3時間以内、土・日は3～4時間以内として適正な部活動が行われるようにしている。

2 就学援助について

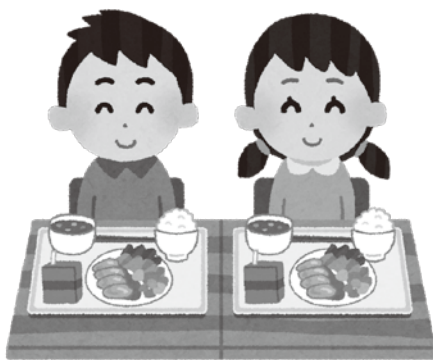
問 文科省は昨年3月31日に入学準備金の支給は入学前も可能とする通知を出した。全国では小学校で4割、中学校で5割で実施、実施予定となっている。本町でも子育て世代の出費がかさむ時期に配慮した入学前支給の実施を。

答 平成31年度入学者の入学前支給を行えるように予算を計上している。

3 給食費補助について

問 全国で83市町村、県内で諸塚村が学校給食費の無償化を行っている。子育て支援としての給食費補助を、公約の実現を。

答 来年度より小中学校給食費半額補助を実施する。



4 自治公民館建設について

問 並木区では公民館建設に向けて、区民のみなさんのご理解とご協力のもと負担金の準備が行われている。町の建設に向けての対応は。

答 来年度の予算に並木公民館実施設計費用を計上しており、平成31年度に建設の方向である。

○西諸地域医療構想調整会議について

問 昨年12月19日に西諸調整会議が開催されているが、会議の内容は。

答 公立病院それぞれの新改革プランの説明を受け、質疑応答を行った。また、ほほえみ館長が病床の削減を心配する声がある旨を伝えた。



事務・事業評価制度の導入を！



益本 一博議員

○事務・事業評価制度の導入を

問 住民の要望を的確に掬い取り、施策を打ち出していく点検・評価が必要だ。少ない財源を有効に使い、質の高い政策を実施するために事務・事業の評価制度の導入を。

答 予算編成において、事務事業について、事業の目的・効果等について分析、再検討を加え、予算化している。事業評価については、行政サービスの現状分析を行い、行政課題の発見、行政運営の改善・改革を行い、

限られた財源を最大限に有効活用するため重要である。

○財政再建をどうする!!

問 歳入の減少、扶助費等の増加で自由な財源は減少。どう立て直し、町を再生するのか。

答 次世代に負担を先送りしないという理念のもと、「町民の誰もが住み続けながら、豊かさや幸せを実感できる町づくり」実現を目指す。費用対策効果の検証、事務事業の見直しで歳出抑制を図り、所得向上による税収の確保に努める。

問 約53億円ある地方債の現状についてはどのように考えているか。

答 公共施設等の維持・補修には地方債の活用も必要。

有効な活用を図る。

問 投資的経費が少ない。ライフラインの維持管理・補修のために、将来極めて大きな財源が必要となる。

答 道路・橋梁、公共建物等の多くが更新期にきている。年次的に実施していく。

○国・県の大型プロジェクトへの対応は?

問 2020年東京オリンピック



1984年8月3日(日)
ラピッドファイアピストルで
日本初の金メダル獲得
蒲池猛夫選手



高原町史より

(高原町出身)

ピックにどう臨むのか。

答 県は、みやぎき東京オリンピックピック・パラリンピックおもてなしプロジェクト連携会議を設立。国は、参加国・地域との相互交流を図るホストタウンを推進している。

問 2026年宮崎国民体育大会については?

答 県は準備室を設置し、準備委員会設立総会及び第1回総会を開催。県及び関係機関と一体となって準備を進めて参りたい。

問 2020年、「国民文化祭・みやぎ2020」

と「障害者芸術・文化みやぎ大会」については?

答 国民文化祭・全国障害者芸術文化祭の開催には、住民の文化意識の高揚、地域の知名度の向上、集客・経済活性化など多くの効果が期待される。本町の文化振興や伝統芸能普及啓発に寄与するイベントであり、準備委員会設置や具体的取組について検討する。



ふるさと納税のお返しを5割に



温谷 文雄議員

○ふるさと納税について

問 現在、高原町のふるさと納税によるお返しは3割となっているが、魅力がななく納税者が少なくなっている。昨年の予算は3億円、今年の予算は2億円このまま推移すると2千万円も集まらない。5割に戻さないと、事業主や雇用にも影響が出る。5割に戻して欲しい。

答 年度途中で返品十感謝品贈呈を複数回実施し目標額に達したい。

○郡と大字の廃止を

問 郡は元々中国から由来し、明治になって町村を包括する意味から郡制度が設けられた。西諸県郡では、今では高原町が、一町であり包括の意味をなさない。東京都では、郡が付かない町村もある。大字も小林市は合併と同時に大字を廃止した。パソコンを使って郵便番号で検索しても大字は出てこない。大字が付くことによりどれが正確な住所かわからなくなる恐れもある。主体性のある高原町の為に郡や大字の廃止を。

答 郡は、明治11年郡区町村編成法により、同23年に郡制が設置された。地方自治法付則第17条の規定により西諸県郡を廃止することは出来ない。大字は、地方自治法第260条の規定により、市町村の区域内の字を廃止するときは、様々な手続きを得たうえで議決を得ることになっており、あらゆる機会を捉え町民の意見を聞く。

問 広原住宅建設は、遅々として進まない。当初の計画通りであれば、新婚家庭には、とくに赤ちゃんがいてもおかしくない。早急な建設を。

答 平成30年度は、道路舗装と上下水道工事予算を計上した。設計予算を補正予算で計上し、その後の建築予算は財源確保を図り早急に建築したい。



▲広原住宅建設予定地

活性化対策特別委員会の活動

高原町議会活性化対策特別委員会では、平成31年3月の制定を目指し、本町独自の「健康づくり条例（仮称）」の策定に取り組んでいます。

策定作業に先だち、本町の関係各課との意見交換を実施し、また、先進自治体である川南町に調査に伺いました。

○関係各課との意見交換

日 時：平成30年1月24日（水）

場 所：高原町議会議員控室

関係課：まちづくり推進課、高原病院、教育総務課、町民福祉課、ほほえみ館

各課との意見交換においては、第5次高原町総合計画をはじめとして、本町が制定している種々の計画、プランについて、健康づくりに関連する項目を各課から説明いただいた上で、それらの内容や目的、背景などを質疑いたしました。

今後、条例の策定作業においては、条例の内容について、関係各課からの意見を聞き取りを行いながら検討作業を進めることとしています。

○先進地調査

日 時：平成30年2月 7日（水）

場 所：川南町役場本館3階 第2会議室

川南町は、平成29年3月に、議員提案の政策条例として、「川南町地域全体でとりくむ生き生き健康づくり条例」を制定しています。

条例の制定過程についての知見を深めるべく、議員全員で川南町議会に調査に伺いました。

今回、川南町議会には、特別のお取計いをいただき、ほとんどの議員の方々にご出席いただきました。

そして、条例の制定過程や条例制定による効果等を説明いただいた上で、各条文の意味など、本町議会からの質疑にも丁寧にご対応いただきました。

また、川南町議会からは、「高原町の地域にあった独自性をもつ条例を制定して欲しい」との御意見もいただきました。

なお、調査後は、参加いただいた川南町議員さんとともに、それぞれの自治体が持つ課題や話題などについて、意見交換、情報交換を行いました。



川南町での研修

平成30年 第1回定例会議議決結果

議案番号	件名	議決結果	① 益本一博	② 松元茂春	③ 北迫泉	④ 中村昇	⑤ 温谷文雄	⑥ 反田吉巳	⑦ 入佐廣登	⑧ 陣圭介	⑨ 清水公雄	⑩ 宮司勲
同意第1号	教育委員会の教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	-
同意第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
承認第1号	専決処分について（専決第1号） 平成29年度高原町一般会計補正予算（第7号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第1号	平成29年度高原町一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第2号	平成29年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第3号	平成29年度高原町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第4号	平成29年度高原町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第5号	平成29年度高原町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第6号	平成29年度高原町病院事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第7号	高原町国民健康保険条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第8号	高原町児童プール及び児童遊園の設置並びに管理運営に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第9号	高原町母子・父子家庭医療費助成に関する条例及び高原町寡婦医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第10号	高原町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第11号	課設置条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第12号	病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第13号	高原町企業立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第14号	高原町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-
議案第15号	高原町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第16号	町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第17号	高原町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第18号	工事請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第19号	平成30年度高原町一般会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	●	欠	-
議案第20号	平成30年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第21号	平成30年度高原町農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第22号	平成30年度高原町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	-
議案第23号	平成30年度高原町介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	欠	-
議案第24号	平成30年度高原町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	欠	-
議案第25号	平成30年度高原町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第26号	平成30年度高原町病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第27号	平成30年度高原町工業用水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第28号	平成29年度高原町一般会計補正予算（第9号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

茶飲み場

シリーズ④

いつも大勢の参加でにぎわう
料理・茶菓子をつまみ はずむ会話

西広原地区茶飲み場



茶飲み場は毎週月曜日の10時より、入佐睦子さん宅で開かれます。3月26日は上平や福原から9名（いつもは12〜13名）のみなさんが集まって来られました。まず、一人ひとりずつ血圧の測定を行い、それからビデオを見ながら百歳体操を30分。そして睦子さんの手料理で茶飲み場の始まりです。睦子さんは自宅で開いていることについて、公民館にはテレビやレコーダーもなく利用できないと。

最高齢で90歳の女性の方は体操を始めて、杖がいなくなつたと効用を話されます。また、茶飲み場ができたおかげで上平と福原の交流ができるようになったと喜んでおられます。みなさん一人暮らしの方も多く、毎週楽しみにされている様子でした。

北狭野地区茶飲み場

北狭野地区の茶飲み場は、平成25年4月に開設され今年の4月で6年目を迎えています。当初は毎月の第2第4の日曜日に実施していたが、1年前から第2第4の水曜日の2回に変更されています。

百才体操を毎月の水曜日に4回実施し、この中の2回は体操の後に茶飲み場を開かれています。参加者は平均して12人〜13人、多いときは15人〜16人になります。

夫婦での参加も6組あり、男性の参加も多いときで7人を越えるときもあります。お互いの健康を気遣ったり、昔話や四方やま話に花が咲くそうです。80才を過ぎた家族は牛飼もされておられます。茶飲み場の参加者の中には狭野小学校の朝の挨拶運動にも数名参加され、百才体操や茶飲み場で元気をもらっていると感じておられ茶飲み場で和気藹藹楽しく過ごされています。



編集後記

◇議員1期目の私にとっては3回目の予算会議が終わりでした。1年目、2年目と比べると、各課が実施している事業内容についての理解もだいたいが習熟度が上がってきたように感じています。◇以前、民間企業で働いていた時分に、上司から言われた一言を今でもはっきりと記憶しています。「会議に出席して一言も発言しないのは、会議に出席していないのと同じだ。」という言葉です。◇議員として発言することは、口うるさいと思われる面がある一方、高原町全体にとっての前進を生み出すきっかけにも繋がると信じています。◇平成30年度は、現構成の議会も実質的に最終年度です。4年間、議会が高原町全体のために何を実現できたかを町民の方々が考える1年でもあります。4月23日から町内11ヶ所で開催される議会報告会に、是非ご近所お誘いあわせの上、足をお運びいただき、みなさんの生の声をお寄せ下さい。

（陣 圭介）